

## 京ちゃんブログ

このレポートでも紹介してきた京ちゃんブログは、2010年4月12日に開設された。4月25日に「みんなよく頑張ったこの5年間」と題して、京ちゃん5歳の誕生日をお祝いしている。苦難の5年間を振り返り、ブログで京ちゃんの成長を発信されたようだ。美味しそうなケーキをじっと見つめる京ちゃんが印象的だ。この写真から5年前のすてきな京ちゃんを知ることができた。



5月5日から3日連続で「人口呼吸器をつけての海遊館&USJ&IKEYAの旅」のブログである。楽しそうな大阪の旅の感動が伝わってくる。「イケア」は初めて知った。私に「行けや」と言っているようだ。とにかく京ちゃんの明るい表情とご両親の気配りが心に残った。

その後も興味深いブログが続く。京ちゃんの成長とご家族の奮闘ぶりと苦勞の連続が、ビジュアルに書かれている。読んでいて感動することが多い。ここでは中日新聞2012年9月24日11面の「重い障害のある子の入学先」という記事を紹介したい。大きく「普通学校で学びやすく」とあり、「文科省が『原則』見直しへ」「本人と親の意向尊重」の見出しもある。この記事もブログで知った。

「京ちゃん、おはよー」 9月中旬の朝、堀田小学校1年の林京香ちゃんに同級生の女の子が駆け寄った。母親の有香さんが押すベッド型車いすに乗り、友達と一緒に登校する写真から、学校へ行くのが楽しいのが伝わってくる。

「京香ちゃんは今春、地元の学校に入った。障害児向けの学級ではなく、普通学級ですべての授業を受けている。クラスの一員として棒を使って窓を閉める係や給食当番を務める。1学期には体育で車いすから手作りの投球台でボールを転がしたり、父親の智宏さんが支えて学校のプールで泳いだりした。」

「堀田小では、子どもたちが車いすを押し、京香ちゃんに話しかけることが普通の風景になっている。智宏さんは『障害のある子が普通学校にいるのが当たり前になれば、違う人間を排除する気持ちは少なくなるのでは。そこから、だれもが共に生きる社会が育つだろう』と考えている。」 なんと心響く指摘だ。



(2014年12月13日)